

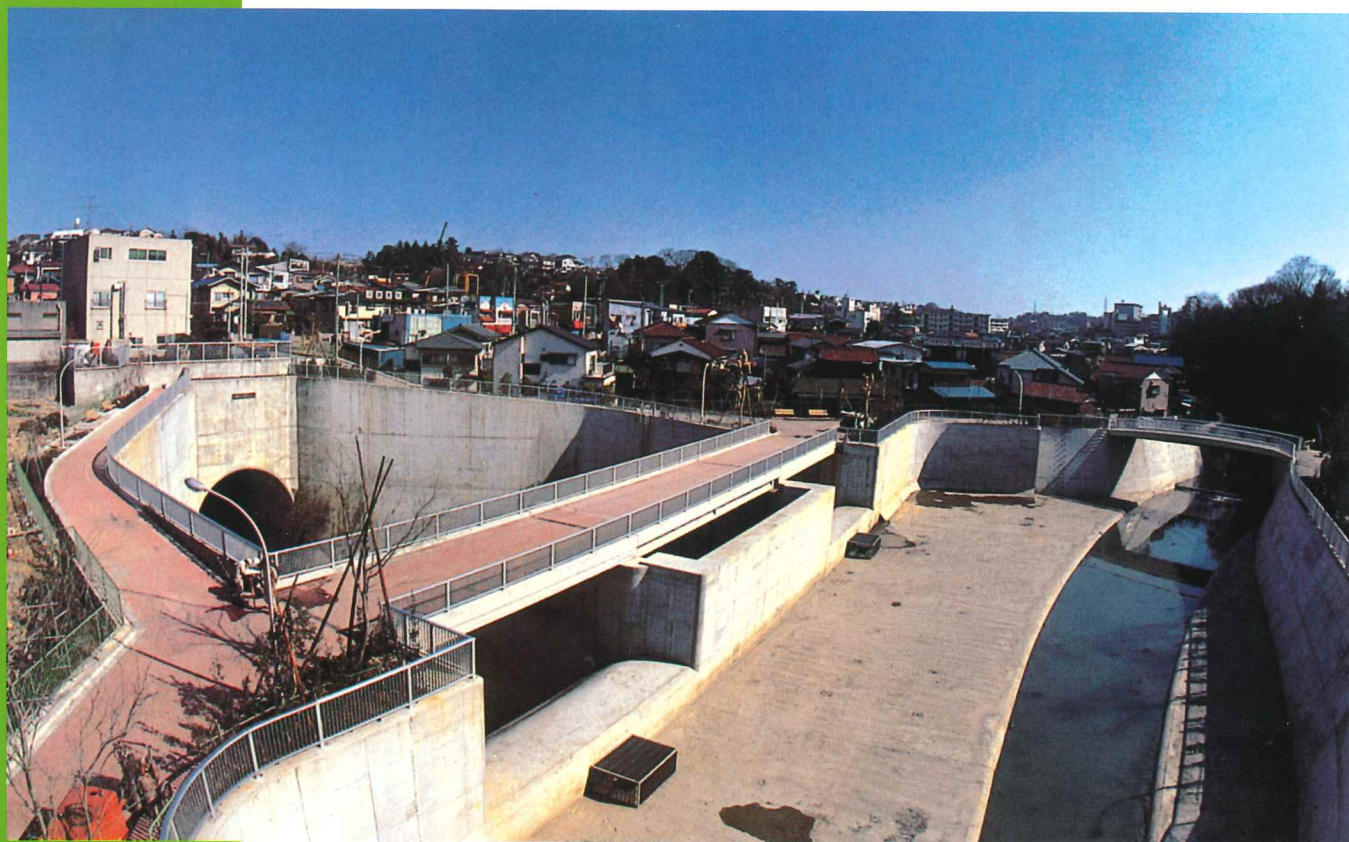


神奈川県

KANAGAWA

# 大岡川分水路

快適で安全な街づくり



大岡川取水庭  
(工事完成時昭和56年撮影)

神奈川県



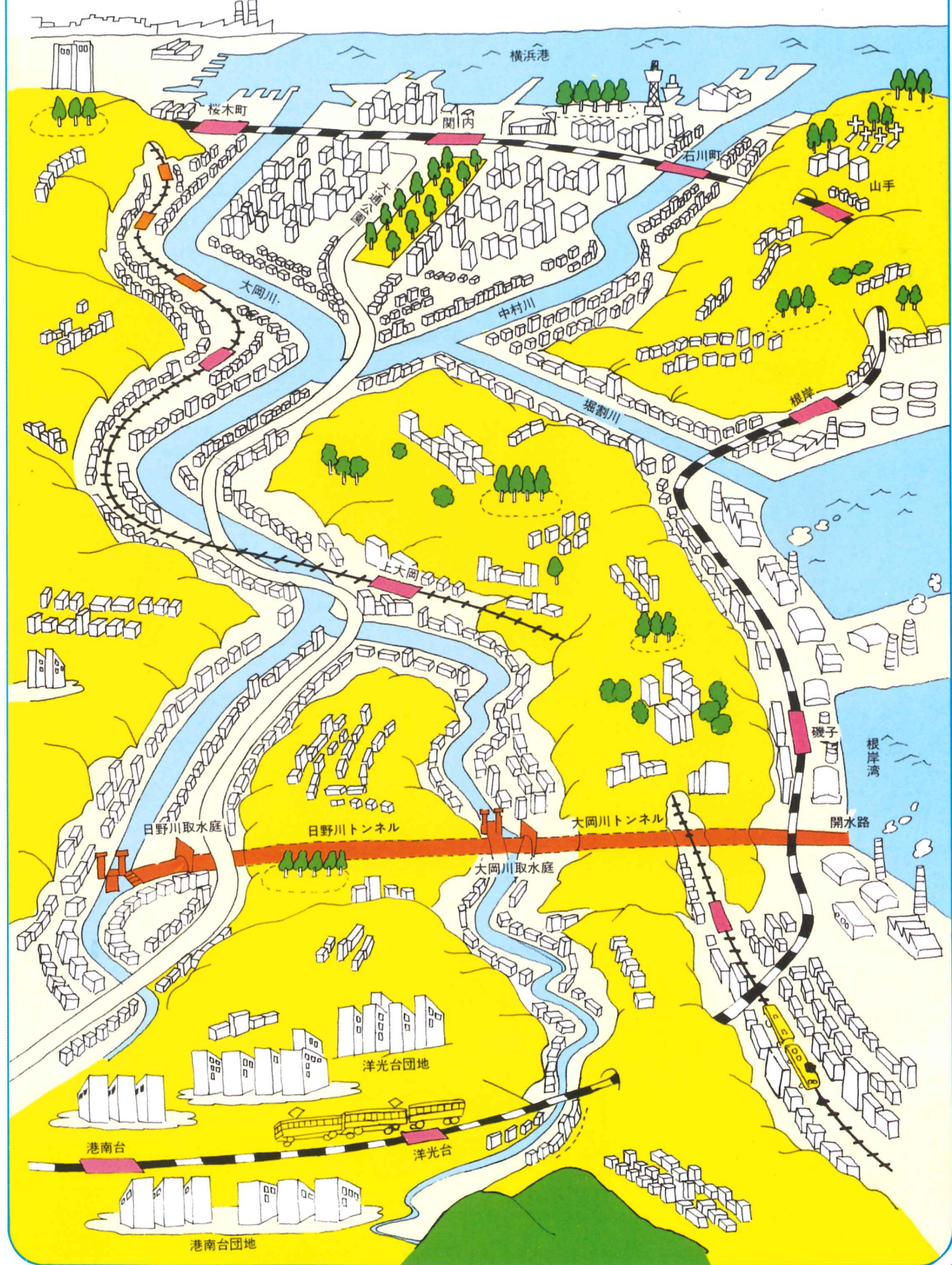


緑と水の調和



美しい川を私たちの手で

# 大岡川分水路位置図





## 大岡川

### ● 背景

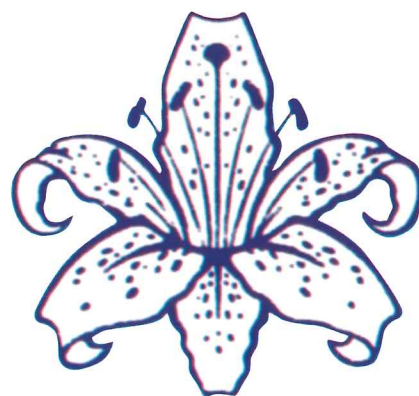
横浜市は昭和30年代後半から急激な人口増加し、宅地開発などによる市街化により少しの降雨でも浸水・氾濫等の被害があった。

### ● 工法の採用

従来は、川幅を広げたり、川底を掘る方式が主流だったが、土木技術の進歩によりトンネル方式を採用。

### 大岡川笹下取水庭

(港南区笹下5丁目)



## 日野川

### ● 分水路の役割

以上降雨時に大岡川・日野川の上流域の雨水全量をカットし、トンネル(分水路)へ自然流下させ根岸湾に直接放流。

### ● 事業主体・着工完成年次

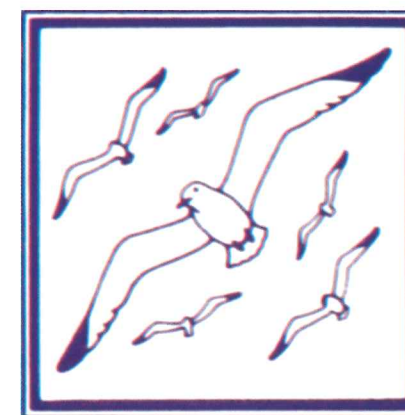
神奈川県・横浜市の共同事業として昭和44年事業がスタートし、昭和56年完成。

### ● 現在の管理主体

現在は神奈川県が管理。

### 日野川日野取水庭

(港南区日野5丁目)





## 大岡川分水路建設事業の概要

### 大岡川の現状

大岡川は、その源を磯子区の円海山付近に発し、港南区、南区及び中区等四の中枢部を貫流している重要な河川です。

近年、上流地域において洋光台、港南台などの大規模な開発をはじめとして、大小さまざまな開発が行われたため著しく流出量が増大し、しばしば溢水氾らんを起こして、流域住民に多大の被害を与えてきました。しかも、これからの開発を考慮すると、洪水の規模がますます大きくなることが予想されます。

### 分水路の計画

このため、大岡川の抜本的治水対策が必要となり、国、県、市において協議検討した結果、直接根岸湾に放流する大岡川分水路を建設することになり、昭和44年5月17日都市計画決定を行い、縣市共同のもとに昭和44年度から事業を開始しました。

この分水路計画は、大岡川と日野川の合流点の上流それぞれ約1キロメートルの地点に取水口を設置し、上流地域における洪水時の流出量を、ほぼ全量カットして直接根岸湾へ放流するものです。

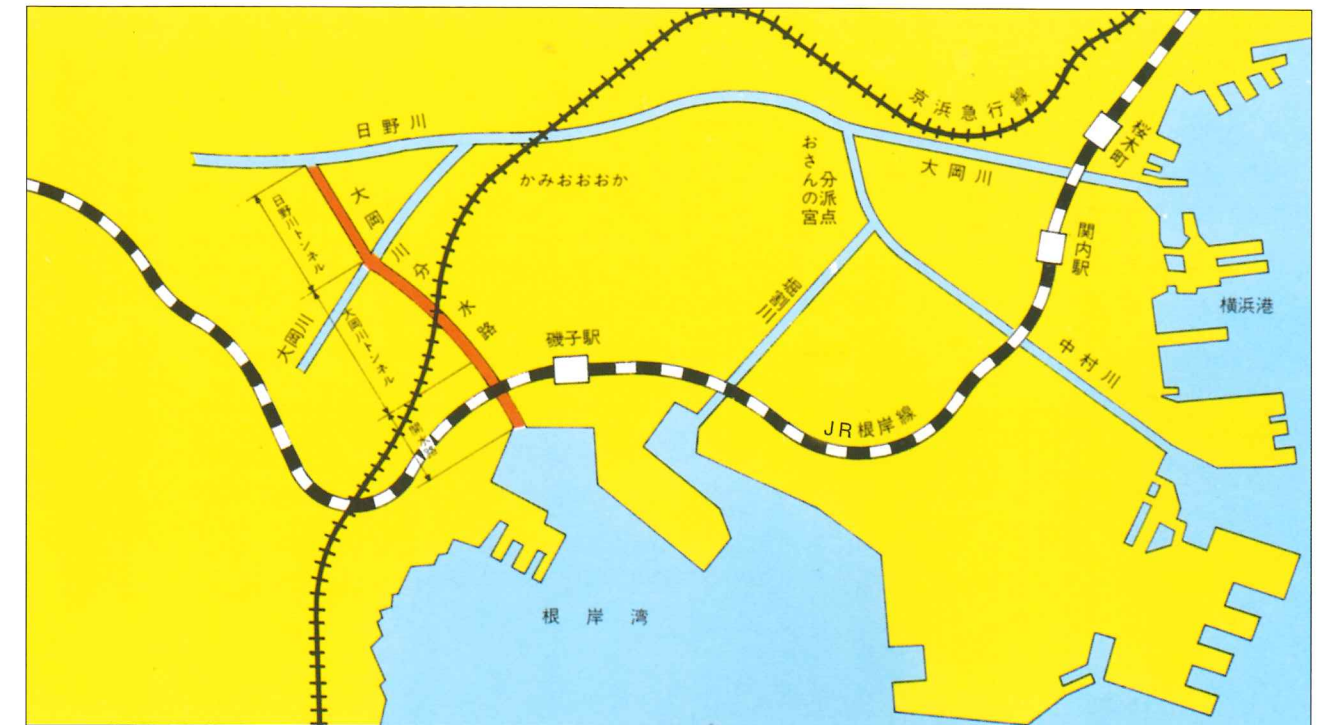
分水路の計画分水流量は毎秒415立方メートルであり、この流量カットによって下流河川の流量は大幅に減少させることができます。

### 事業内容

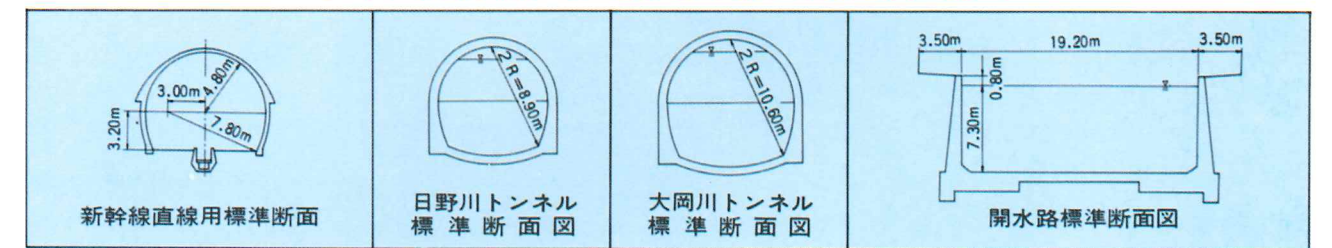
大岡川分水路は、日野川から根岸湾まで全長3,637メートルの新しい河川で、2本のトンネル（日野川トンネル延長1,269メートル内径8.9メートル、大岡川トンネル延長1,298メートル内径10.6メートル）と開水路並びにトンネルに洪水を取り入れるための日野川取水庭と大岡川取水庭より出ています。このための用地取得は、24,567平方メートル、トンネルを作るための地下を使用させて頂くのに必要な地上権設定契約は23,582平方メートルとなり、多くの方々のご協力を頂きました。

計 画 決 定	昭和44年5月17日
事 業 区 間	3,637m (港南区日野町地先～磯子区新森町地先)
事 業 年 度	昭和44年度～昭和55年度
計 画 分 水 流 量	415m <sup>3</sup> /s (大岡川220m <sup>3</sup> /s、日野川195m <sup>3</sup> /s)
流 域 面 積	全体流域面積27.25km <sup>2</sup> (大岡川分水路流域面積13.64km <sup>2</sup> )
総 事 業 費	約166億円

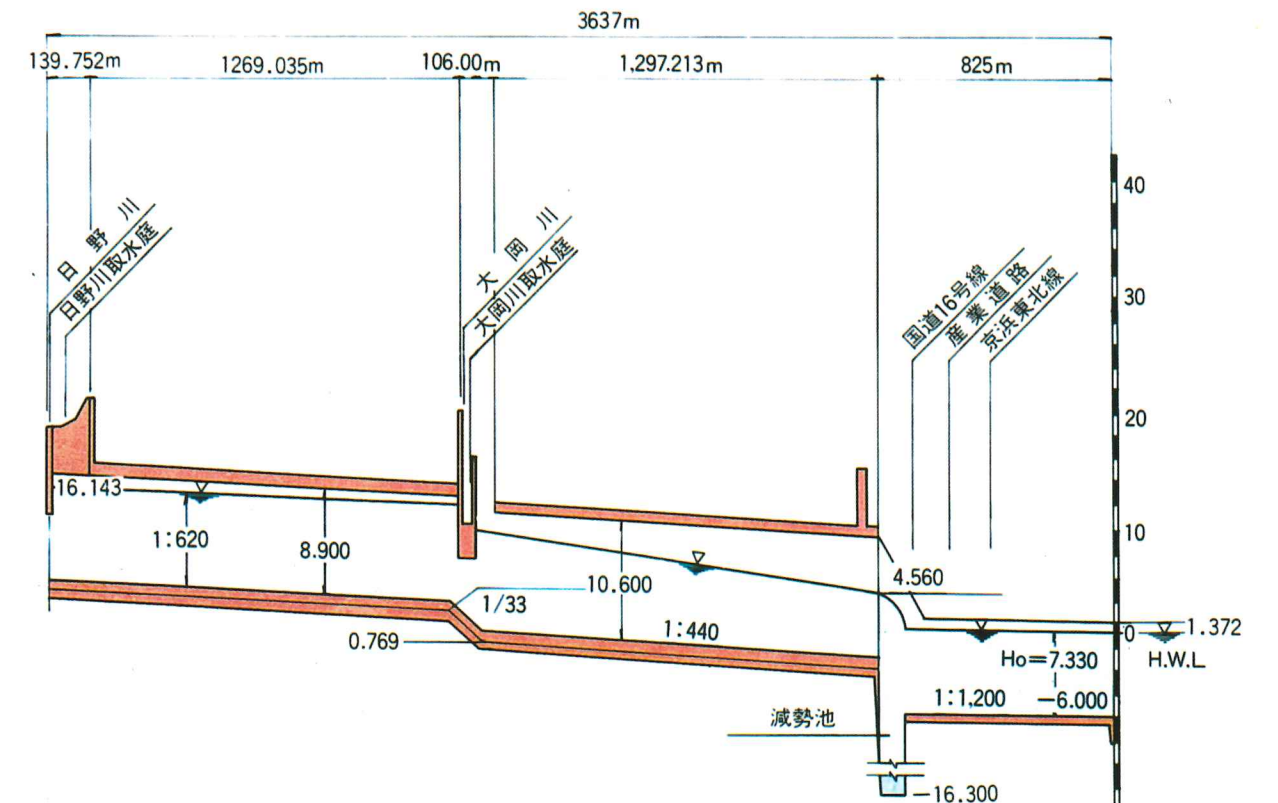
## 大岡川分水路概略図



## 大岡川分水路比較横断面図



## 大岡川分水路縦断面図





# 川と人間の共存の技術

——川は、大きな自然の力を持っています。  
人間はこれを制御し利用しなければなりません。——



## 大雨で危険な大岡川

昭和48年11月9日の大雨で危険な状態となった大岡川。この水を分水路へ流入させます。  
(港南区笹下二丁目4番地、取水庭付近)

## 日野川取水庭

ここから、日野川の洪水を取り入れます。日野川トンネル、大岡川トンネル、下流開水路を通して、直接根岸湾に放流されます。



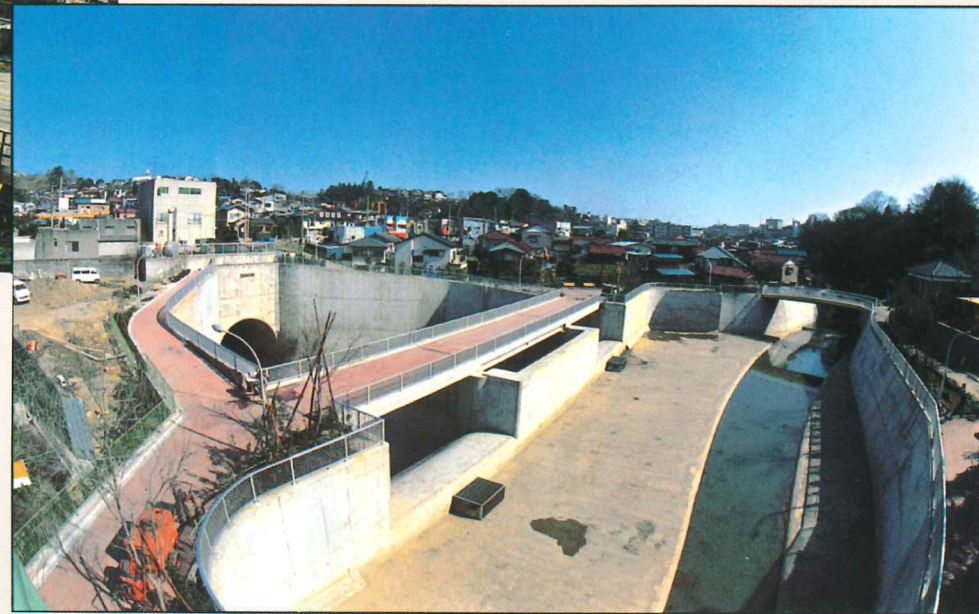
## 日野川トンネル

日野川トンネルは、港南区日野町から同笹下二丁目まで約1,269メートルあります。断面は馬てい形で径8.9メートルの大きさです。



## 大岡川取水庭

大岡川と日野川トンネルの合流点。ここから大岡川の洪水も取り入れ、大岡川トンネルを経て直接根岸湾に放流します。  
(港南区笹下二丁目4番地先)



## 大岡川トンネル

大岡川トンネルは、大岡川取水口から磯子区森2丁目地先までの約1,298メートル。断面は馬てい形で径10.6メートルの大きさです。  
(トンネル出口磯子区森2丁目)

## 大岡川分水路の河口付近 (平成15年撮影)

工場地帯を貫き根岸湾に注ぐ分水路。





# 大岡川分水路略史



国道16号線に、新しくかかる屏風ヶ浦橋の新設工事



- S 36~39 日野川・災害関連事業で改修
- S 36~41 大岡川・災害復旧助成事業で改修
- S 44・3・31 大岡川分水路全体計画、建設大臣認可
  - 4・1 港南区・南区から分区
  - 5・17 横浜国際港都建設計画河川 決定
  - 8・11 下流開水路区間・産業道路、跨線橋から工事開始
  - 11・6 「横浜市下水道局大岡分水路建設事務所」発足
  - 11・11 用地買収契約台1号（磯子区森町2036-2）
- S 45・8・28 大岡川分水路 起工式
- S 46・7・28 日野川トンネル工事・鎌倉街道横断部から開始
  - 8・28 大岡川トンネル工事・下流部分から開始
- S 48・10・30 大岡川トンネル 貫通
- S 50・3・31 大岡川トンネル 完成
  - 8・1 大岡川取水庭工事 開始
- S 51・7・10 大岡川トンネルから加工へ通水始まる
- S 52・10・7 日野川（日野橋～大岡川合流点）2級河川指定
- S 54・12・15 日野川トンネル 貫通
- S 55・3・31 日野川トンネル 完成
- S 56・3・31 大岡川取水庭 完成
  - 5・8 大岡川分水路 竣工式

